

川西市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の進捗状況について

1. 計画に位置づけた施策の取り組み状況について

川西市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画では、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間として、「全ての人が、最期まで自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現」との基本理念のもと、5つの基本目標に沿って115の施策を実施しています。

ここでは、計画期間における各施策の実施状況について、担当所管による自己評価の概要をまとめています。

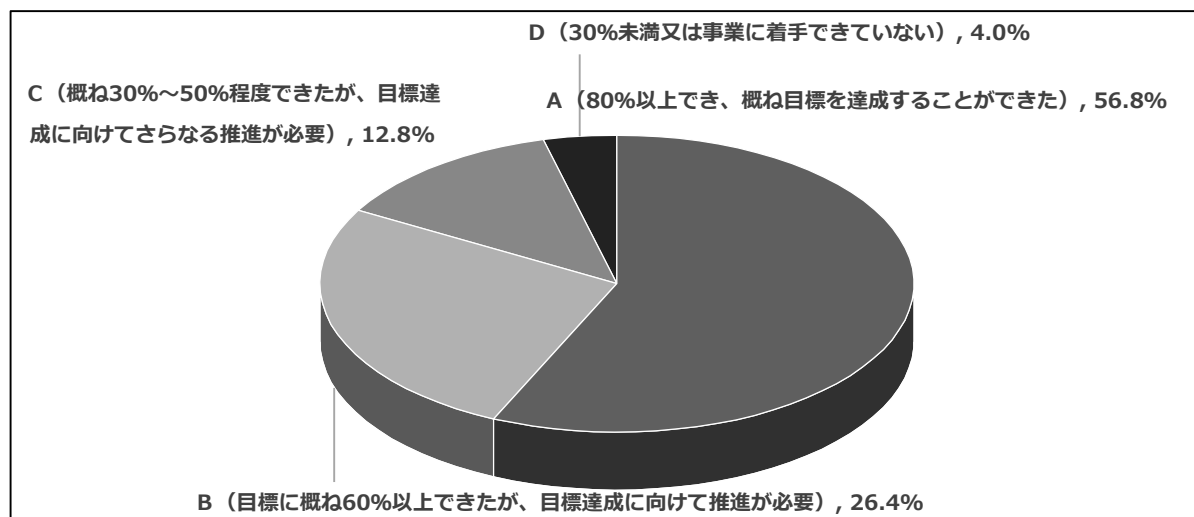
(1) 全体集計

評価は、各施策の担当所管が、計画期間の実施状況について4段階で自己評価したもので、「A」は、80%以上でき、概ね目標を達成することができたもの、「B」は、目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要なもの、「C」は、概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要なもの、「D」は、30%未満又は事業に着手できていないものを表しています。

計画全体では、「A」評価が56.8%、「B」評価が26.4%となっており、これらを合わせると83.2%が、一定程度、計画に定めた目標に沿った施策展開ができていると評価しています。

なお、同一施策を複数の所管で実施している場合は、所管ごとに評価を行っているため、評価の合計数は、計画に位置づけた施策の合計数とは一致していません。

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	71	56.8%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	33	26.4%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	16	12.8%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	5	4.0%
合計	125	100.0%



(2) 基本目標ごとの集計結果

○基本目標1：介護予防とフレイル対策の推進

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	9	60.0%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	3	20.0%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	2	13.3%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	1	6.7%
合計	15	100.0%

「A」評価の項目

No.5 （仮称）巡回型介護予防計測・相談会の実施＜新規＞☆

令和6年度から開始した「アクティブシニアのためのからだ測定会」では、市在住の65才以上の人を対象に、日常生活圏域毎のスーパー、商業施設等の無関心層でも気軽に参加しやすい場所で、フレイル予防・認知症予防の測定と相談会を実施し参加者は501人であった。今までフレイル予防や認知症予防に無関心だった参加者も多く、フレイルや認知症の早期発見・早期対応につなげることができた。

今後も引き続き、参加者が自ら継続して介護予防に取り組む意識付けの場となるよう支援するとともに、その参加者が、様々な住民主体の通いの場等への参加等、他の介護予防施策と連動できるよう取り組む必要がある。

No.6 （仮称）介護予防ポイント制度の創設＜新規＞☆

介護予防・健康ポイント事業「笑顔ミライちよきん」として令和7年1月から事業を開始した。アプリ登録者3,363名、登録活動団体数512団体、1,358活動、介護予防ポイント獲得者数は1,937人であった。

介護予防活動等については、第2層生活支援コーディネーターとともにさらなる把握に努め、市民が介護予防に取り組むきっかけとなるよう継続して周知に努める。

「B」評価の主な項目

No.8 通いの場への支援＜新規＞☆

介護予防に資する通いの場の活動の継続と活性化、新規立ち上げに向けた支援を行うため、市内の通いの場の開催状況の把握と、立ち上げや運営に必要な支援について、活動者への聞き取りを行い、それをもとに、介護保険運営協議会・生活支援体制整備部会において、必要な支援策について協議を行った。

引き続き協議を重ね、通いの場の活動の継続と活性化に必要な支援について検討していく。

「C」評価の主な項目

No.14 フレイル改善短期集中プログラムの実施

令和6年度の利用者実績は10名と、依然少ない状況であり、また、いずれの利用者も3か月間の運動プログラムを実施後に、何らかの介護保険サービスを利用している状況であったため、利用者増を図るため、地域包括支援センター、訪問型サービスC、通所型サービスC事業所を集め意見交換会を開催し、委託料の見直しを行った。

地域包括支援センターと通所系サービス事業者向けの意見交換会の開催や、入院をきっかけにフレイルとなるケースも多いため、医療機関のリハビリ部門、退院支援部門を訪問し、本プログラムに対する協力を依頼するなど、引き続き、他機関との連携を図る必要がある。

○基本目標 2：地域包括ケアシステムの深化・推進による共生社会の実現

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	15	71.4%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	5	23.8%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	1	4.8%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	0	0.0%
合計	21	100.0%

「A」評価の主な項目

No.16 地域包括支援センターの機能強化＜拡充＞

介護支援専門員不足による介護予防ケアプランの再委託先の減少により、センターの業務負担が増大している状況に鑑み、条例上の配置基準に加え、機能強化分として、各地域包括支援センターに1名ずつ追加配置の予算措置継続に加え、令和6年度より、専門職の業務効率化と事務負担軽減を目的に、各地域包括支援センターに1名事務職を配置できるよう予算措置を行い機能強化を図ることができた。

しかしながら、独居や、複合的問題を抱える高齢者も増加する中、人材確保が困難な状況も続いているため、PDCAサイクルに沿った経年的な評価を実施するとともに、必要な改善と事業展開を行うことが必要である。

No.18 生活支援コーディネーターの配置＜拡充＞

第2層生活支援コーディネーターは、段階的に増員し、令和6年度より7名配置となり、令和6年度新規事業である「訪問型支えあい活動支援事業」や「介護予防ポイント事業」の周知とともに、地域活動の活性化に取り組むことができた。

また、「かわにしサポートナビ」の充実により社会資源の一元化と可視化をさらに推進し、地域包括支援センターと連携し地域分析し、その結果を基に、地域に不足する必要な社会資源の創出につなげていく協議を重ねている。

今後も引き続き、第1層・第2層生活支援コーディネーターが協働し、地域づくり、社会資源の創出につながる支援を実施していく。

No.20 訪問型支えあい活動への支援＜新規＞☆

令和6年度より、地域活動者の人材確保と活動の継続と発展を目的とする「訪問型支えあい活動支援事業」を開始し、本事業の周知を行い、訪問型支えあい活動の活性化への支援に取り組み、12団体に対し補助金の交付を行った。

今後、特に地域課題である車両を利用した移動支援や、生活支援の新規立ち上げがしやすいようになるよう事業の拡充を検討していく。

「B」評価の主な項目

No.21 生活支援サポーターの養成

受講者数は計画値を下回ったものの、受講者が基準緩和型訪問サービスをより具体的に理解できるよう、同サービス提供事業所へ研修を委託し、修了者22人中2人が就労に向け事業所へ登録し、1人が訪問型支えあい活動につながった。

また、年2回の生活支援サポーターへの就労意欲の向上を目的とするニュースレターの発信も継続して実施した。

今後は、従来と比較し、受講者の年齢が下がっているため、SNSを活用した研修の周知や、土・日曜での研修開催を検討し、受講者を増やし、就労者や地域活動者の増加につながる取り組みを実施していく。

○基本目標3：認知症施策の充実（認知症対策アクションプラン）

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	17	68.0%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	6	24.0%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	2	8.0%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	0	0.0%
合計	25	100.0%

「A」評価の主な項目

No.41 認知症地域支援推進員の活動強化＜拡充＞ ☆

各地域包括支援センターに1名ずつ認知症地域支援推進員を配置するとともに、令和6年度より、委託型地域包括支援センターの認知症地域支援推進員がチームオレンジコーディネーターを兼務している。

今後も引き続き、認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人や家族の意見及び希望を聞くとともに、認知症初期集中支援チームと連携するなど、地域の実情に応じた連携体制を構築に努める。

No.45 認知症みまもり登録者への認知症損害賠償保険の加入＜新規＞ ☆

令和6年10月から「認知症高齢者等あんしん保険」を開始し、利用者数は62人、保険金の支払いは0件であった。

また、本事業開始に伴い、みまもり登録者数も増加している。

さらに、必要な人に広く利用が進むよう、機会をとらえた広報や周知に努めていく。

No.52 認知症啓発講演会・VR体験会の開催＜新規＞ ☆

市制70周年記念事業にて、9月に「認知症フレンドリー講座」としてVR体験会を7会場で実施し、参加者は計198名であった。参加者からは、自分事として認知症を考える機会となり有意義な講座であったという感想が多かったため、令和7年度も引き続き「認知症フレンドリー講座」を実施する予定である。

「B」評価の主な項目

No.44 「認知症みまもり登録」の実施 ☆

認知症みまもり登録者の現状調査を実施し、入所などによる登録廃止希望者などを整理したため、実績が少なくなっている。新規申請者は48人であった。

また、代表者からの意見をふまえ、認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議で協議し、みまもり台帳の運用方法を変更したが、今後も、登録者については、地域ケア会議を活用し、個々のケースに沿った支援体制の構築していくとともに、引き続き、認知症本人及び家族への支援として「認知症みまもり登録」の周知を図っていく。

「C」評価の主な項目

No.60 若年性認知症の人を対象とした就労支援等の実施＜拡充＞ ☆

自立支援医療の給付や障害福祉サービスにおける就労支援など、状況に応じた適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携し、本人及びその家族への相談等、障がい者施策と一体的に行っていく。

○基本目標４：生きがいつくりの充実と安心、安全な生活の確保

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	14	43.8%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	15	46.8%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	2	6.3%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	1	3.1%
合計	32	100.0%

「A」評価の主な項目

No.69 ニーズ把握とシルバー人材センターの充実

シルバー人材センターについて、新規会員加入の説明会を年間延べ67回実施し、会員数の増につなげた。

一方で契約金額が少なく受注件数の多い単発業務が減少し、その結果就業延べ人数と事業収入は見込みを下回ることとなった。

No.79 移動販売等の充実＜拡充＞

令和5年度より川西市買い物支援ネットワークを立ち上げ、民間事業者・生活支援コーディネーターと移動販売を含む買い物支援の充実に取り組んでおり、高齢者施設や公園等で移動販売を行い、実際に品物を手に取り住民同士で会話をしながら買い物を行うことができる。

今後は、通いの場と移動販売の連携に取り組んでいく。

「B」評価の主な項目

No.74 住宅改造費の助成と周知・啓発

高齢化が進展していく中で、自宅のバリアフリー工事のニーズは高く、高齢者が自宅で快適に過ごせるよう継続して本事業を実施してきた。

今後も必要な情報が届くよう、地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携し、周知・啓発に努めていく。

No.85 個別支援計画の作成と検証

令和6年度は市が主導して個別避難計画を作成するための準備を整える期間とした。

令和7年度以降は、土砂災害警戒区域に居住している方の中から要介護度の重い方から順にをリストアップし、個別にケアマネジャーや本人に連絡して、個別避難計画の作成を進める。

○基本目標 5：介護サービス基盤の整備と介護人材確保

によるサービスの充実と適正な運営の確保

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	16	50.0%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	4	12.5%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	9	28.1%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	3	9.4%
合計	32	100.0%

「A」評価の主な項目

No.92 かわにし・いながわ介護就職フェアの開催

かわにし・いながわ介護就職フェアについては、見込みを上回り、一定の参加者及び就労者を確保できていることから、さらに多くの人に参加してもらえるよう、のぼりの設置箇所の見直しやSNSを活用した周知を図っていく。

No.99 送迎業務の共同委託の実証実験に向けた調査の実施＜新規＞

実証実験に係る事前調査を実施し、市内複数の事業所が参加したい旨の回答を得た。

運営団体及び実証実験参加事業所の選定を進め、持続可能な制度として成立するよう、関連法人等と連携していく。

「B」評価の主な項目

No.104 介護給付適正化事業の推進

介護給付適正化主要 3 事業については、概ね計画通りに実施することができた。

引き続き、適正化主要事業を着実に実施し、介護給付の適正化を図っていく。

No.107 介護サービス調整チームの充実

介護保険制度が施行されてから20年以上活動していましたが、地域包括支援センターの認知度の向上等による相談件数の減少や、チーム員の高齢化などを理由に令和 7 年 3 月末をもって解散した。

今後は地域包括支援センターを中心に相談体制を充実させる。

「C」評価の主な項目

No.94 介護支援専門等研修受講費助成事業の実施＜拡充＞

令和 6 年度から助成対象者を主任介護支援専門員や新規の研修も可能とする拡充を行ったが、申請件数の見込み数を大きく下回った。

今後は関係団体等に協力を依頼し助成対象者の洗い出しに努め、より多くの介護支援専門員等に助成できるように努める。

「D」評価の主な項目

No.97 市内の介護サービス事業所におけるDXの推進＜新規＞

介護サービス事業者の業務効率化及び働きやすい職場環境の整備のため助成事業を開始したが、利用する事業所が少なかった。

今後は利用している事業者との交流会等を実施し、利用促進を促していく。

○重点施策について（再掲）

認知症対策アクションプラン

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	21	70.0%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	7	23.3%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	2	6.7%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	0	0.0%
合計	30	100.0%

「A」評価の主な項目

No.40 認知症相談・対応機関周知冊子の作成＜新規＞☆

認知症の人が市内で利用できる制度やサービスなどを記載し、認知症の人の状態に応じて相談場面で使用する「川西市認知症ケアパス～あんしんガイド編～」を認知症地域支援推進員が中心となり作成した。

また「認知症の診断・治療ができる医療機関一覧」を、川西市医師会の協力のもと作成した。

今後、適切なケアやサービス利用につながるよう「川西市認知症ケアパス～あんしんガイド編～」の周知と利活用を図っていく。

介護人材プロジェクト

	施策数	割合
A（80%以上でき、概ね目標を達成することができた）	6	42.9%
B（目標に概ね60%以上できたが、目標達成に向けて推進が必要）	1	7.1%
C（概ね30%～50%程度できたが、目標達成に向けてさらなる推進が必要）	5	35.7%
D（30%未満又は事業に着手できていない）	2	14.3%
合計	14	100.0%

「A」評価の主な項目

No.93 H O T ! ジョブミーティングの開催

年4回開催のうち1回は介護サービス事業所に加えて障害福祉事業所も対象に開催した。

今後も引き続き、ハローワーク伊丹などの関係機関と連携して周知を図っていく。

No.96 介護事業者のためのワークショップの開催

介護職員の定着支援と離職防止を目的として、兵庫労働局と連携して1月に実施した。業務改善等の改善案をグループワーク形式で話しあいを行った。

今後も多くの介護事業者が参加できるよう周知を図っていく。

2. 介護サービス等の給付実績について

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	計画値	0円	0円	0円	0円
		実績値	8,888円			8,888円
		達成率	—	—	—	—
	介護予防訪問看護	計画値	88,955,000円	90,239,000円	94,131,000円	273,325,000円
		実績値	101,924,489円			101,924,489円
		達成率	114.58%	0.00%	0.00%	37.29%
	介護予防訪問リハビリテーション	計画値	13,813,000円	14,456,000円	14,456,000円	42,725,000円
		実績値	19,438,627円			19,438,627円
		達成率	140.73%	0.00%	0.00%	45.50%
	介護予防居宅療養管理指導	計画値	20,118,000円	20,652,000円	21,179,000円	61,949,000円
		実績値	23,381,054円			23,381,054円
		達成率	116.22%	0.00%	0.00%	37.74%
	介護予防通所リハビリテーション	計画値	107,931,000円	111,330,000円	113,504,000円	332,765,000円
		実績値	112,489,521円			112,489,521円
		達成率	104.22%	0.00%	0.00%	33.80%
	介護予防短期入所生活介護	計画値	4,812,000円	5,359,000円	5,359,000円	15,530,000円
		実績値	2,213,204円			2,213,204円
		達成率	45.99%	0.00%	0.00%	14.25%
	介護予防短期入所療養介護	計画値	0円	0円	0円	0円
		実績値	401,372円			401,372円
		達成率	—	—	—	—
	介護予防福祉用具貸与	計画値	71,370,000円	72,750,000円	73,991,000円	218,111,000円
		実績値	77,047,962円			77,047,962円
		達成率	107.96%	0.00%	0.00%	35.33%
	特定介護予防福祉用具販売	計画値	6,389,000円	6,746,000円	7,059,000円	20,194,000円
		実績値	7,415,634円			7,415,634円
		達成率	116.07%	0.00%	0.00%	36.72%
	介護予防住宅改修	計画値	40,275,000円	45,577,000円	46,595,000円	132,447,000千円
		実績値	40,380,961円			40,380,961千円
		達成率	100.26%	0.00%	0.00%	30.49%
	介護予防特定施設入居者生活介護	計画値	49,054,000円	49,116,000円	51,001,000円	149,171,000円
		実績値	58,102,712円			58,102,712円
		達成率	118.45%	0.00%	0.00%	38.95%

			令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	計
地域密着型サービス	介護予防小規模多機能型居宅介護	計画値	10,249,000円	10,262,000円	10,262,000円	30,773,000円
		実績値	7,816,823円			7,816,823円
		達成率	76.27%	0.00%	0.00%	25.40%
	介護予防認知症対応型共同生活介護	計画値	0円	0円	0円	0円
		実績値	0円			0円
		達成率	—	—	—	—
介護予防支援		計画値	75,283,000円	77,093,000円	79,830,000円	232,206,000円
		実績値	83,188,692円			83,188,692円
		達成率	110.50%	0.00%	0.00%	35.83%
予防給付		計画値	488,249,000円	503,580,000円	517,367,000円	1,509,196,000円
		実績値	533,809,939円	0円	0円	533,809,939円
		達成率	109.33%	0.00%	0.00%	35.37%

○介護給付

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
居宅介護サービス	訪問介護	計画値	1,752,517,000円	1,892,818,000円	2,017,228,000円	5,662,563,000円
		実績値	1,847,746,420円			1,847,746,420円
		達成率	105.43%	0.00%	0.00%	32.63%
	訪問入浴介護	計画値	63,744,000円	65,911,000円	70,114,000円	199,769,000円
		実績値	53,747,987円			53,747,987円
		達成率	84.32%	0.00%	0.00%	26.91%
	訪問看護	計画値	761,416,000円	797,018,000円	830,976,000円	2,389,410,000円
		実績値	701,404,806円	0円		701,404,806円
		達成率	92.12%	0.00%	0.00%	29.35%
	訪問リハビリテーション	計画値	63,585,000円	65,850,000円	67,984,000円	197,419,000円
		実績値	58,678,413円			58,678,413円
		達成率	92.28%	0.00%	0.00%	29.72%
	居宅療養管理指導	計画値	373,596,000円	391,091,000円	408,603,000円	1,173,290,000円
		実績値	360,770,243円			360,770,243円
		達成率	96.57%	0.00%	0.00%	30.75%
	通所介護	計画値	1,420,535,000円	1,464,689,000円	1,485,834,000円	4,371,058,000円
		実績値	1,372,923,977円			1,372,923,977円
		達成率	96.65%	0.00%	0.00%	31.41%
	通所リハビリテーション	計画値	294,130,000円	306,519,000円	318,550,000円	919,199,000円
		実績値	223,021,453円			223,021,453円
		達成率	75.82%	0.00%	0.00%	24.26%

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
居宅介護サービス	短期生活介護	計画値	452,982,000円	462,116,000円	479,813,000円	1,394,911,000円
		実績値	407,255,971円			407,255,971円
		達成率	89.91%	0.00%	0.00%	29.20%
	短期療養介護	計画値	58,457,000円	62,556,000円	63,340,000円	184,353,000円
		実績値	49,852,032円			49,852,032円
		達成率	85.28%	0.00%	0.00%	27.04%
	福祉用具貸与	計画値	476,725,000円	497,090,000円	519,007,000円	1,492,822,000円
		実績値	459,557,866円			459,557,866円
		達成率	96.40%	0.00%	0.00%	30.78%
	特定福祉用具販売	計画値	22,228,000円	21,833,000円	22,607,000円	66,668,000円
		実績値	17,540,401円			17,540,401円
		達成率	78.91%	0.00%	0.00%	26.31%
	住宅改修費	計画値	47,543,000円	48,488,000円	49,433,000円	145,464,000円
		実績値	37,168,920円			37,168,920円
		達成率	78.18%	0.00%	0.00%	25.55%
	特定施設入居者生活介護	計画値	1,206,716,000円	1,208,243,000円	1,231,995,000円	3,646,954,000円
		実績値	1,254,558,359円			1,254,558,359円
		達成率	103.96%	0.00%	0.00%	34.40%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	計画値	122,196,000円	171,351,000円	250,387,000円	543,934,000円
		実績値	24,837,963円			24,837,963円
		達成率	20.33%	0.00%	0.00%	4.57%
	認知症対応型通所介護	計画値	0円	5,043,000円	12,967,000円	18,010,000円
		実績値	168,775円			168,775円
		達成率	—	—	—	—
	小規模多機能型居宅介護	計画値	323,945,000円	338,544,000円	350,231,000円	1,012,720,000円
		実績値	272,046,788円			272,046,788円
		達成率	83.98%	0.00%	0.00%	26.86%
	認知症対応型共同生活介護	計画値	639,080,000円	656,530,000円	733,105,000円	2,028,715,000円
		実績値	580,275,026円			580,275,026円
		達成率	90.80%	0.00%	0.00%	28.60%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	計画値	117,371,000円	128,980,000円	197,514,000円	443,865,000円
		実績値	107,659,102円			107,659,102円
		達成率	91.73%	0.00%	0.00%	24.25%
	看護小規模多機能型居宅介護	計画値	85,172,000円	100,707,000円	171,618,000円	357,497,000円
		実績値	60,128,995円			60,128,995円
		達成率	70.60%	0.00%	0.00%	16.82%
	地域密着型通所介護	計画値	540,692,000円	554,664,000円	567,286,000円	1,662,642,000円
		実績値	493,398,262円			493,398,262円
		達成率	91.25%	0.00%	0.00%	29.68%

			令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	計
施設サービス	介護福祉施設 人設	計 画 値	2,661,728,000円	2,681,997,000円	2,702,486,000円	8,046,211,000円
		実 績 値	2,812,035,494円			2,812,035,494円
		達 成 率	105.65%	0.00%	0.00%	34.95%
	介護福祉施設 人設	計 画 値	1,336,564,000円	1,338,255,000円	1,338,255,000円	4,013,074,000円
		実 績 値	1,395,918,086円			1,395,918,086円
		達 成 率	104.44%	0.00%	0.00%	34.78%
	介護医療院	計 画 値	231,287,000円	249,460,000円	271,688,000円	752,435,000円
		実 績 値	249,664,333円			249,664,333円
		達 成 率	107.95%	0.00%	0.00%	33.18%
	介護療養型 医療施設	計 画 値	0円	0円	0円	0円
		実 績 値				0円
		達 成 率	—	—	—	—
居宅介護支援		計 画 値	816,846,000円	853,705,000円	890,952,000円	2,561,503,000円
		実 績 値	785,924,287円			785,924,287円
		達 成 率	96.21%	0.00%	0.00%	30.68%
介護給付		計 画 値	13,869,055,000円	14,363,458,000円	15,051,973,000円	43,284,486,000円
		実 績 値	13,626,283,959円	0円	0円	13,626,283,959円
		達 成 率	98.25%	0.00%	0.00%	31.48%

合計（総給付費）	計画値	14,357,304,000円	14,867,038,000円	15,569,340,000円	44,793,682,000円
	実績値	14,160,093,898円	0円	0円	14,160,093,898円
	達成率	98.63%	0.00%	0.00%	31.61%

○介護予防・日常生活支援総合事業

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
訪問型サービス	計画値	159,664,000円	164,439,000円	169,357,000円	493,460,000円
	実績値	156,791,259円			156,791,259円
	達成率	98.20%	0.00%	0.00%	31.77%
通所型サービス	計画値	416,268,000円	437,629,000円	460,100,000円	1,313,997,000円
	実績値	396,654,981円			396,654,981円
	達成率	95.29%	0.00%	0.00%	30.19%
介護予防 ケアマネジメント	計画値	65,971,000円	68,610,000円	71,354,000円	205,935,000円
	実績値	61,636,135円			61,636,135円
	達成率	93.43%	0.00%	0.00%	29.93%
介護予防・日常生活支援総合事業 ※サービス費のみ	計画値	641,903,000円	670,678,000円	700,811,000円	2,013,392,000円
	実績値	615,082,375円	0円	0円	615,082,375円
	達成率	95.82%	0.00%	0.00%	30.55%

3. 介護サービス基盤の整備状況について

第9期介護保険事業計画では、下表のとおり介護サービスの基盤整備を行うこととしています。

令和6年度は、「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「看護小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」といった地域密着型サービスについて指定候補事業者の公募を行い、このうち、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」については、川西市介護保険施設の指定候補事業者に係る公募型プロポーザル審査委員会で審査を行い、指定候補事業者として選定しました。その他については、応募する事業者はありませんでした。

また、上記施設にて「認知症対応型通所介護」も併設予定です。

サービス種別	計画
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	29人分
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2 箇所 (60人分)
看護小規模多機能型居宅介護	1 箇所 (29人分)
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	18人分
認知症対応型通所介護	1 箇所
特定施設入居者生活介護	100人分